

一般研究発表（7）

男子エリートアスリートの競技力向上過程においてコーチが与える影響に関する研究

細川史裕

日本体育大学院

1. 序論、目的

本稿を進めていくにあたり、ここで述べるエリートアスリートとはオリンピックや世界選手権など国際レベルにおいて優秀な成績を収めているアスリートのことを指すこととする。またエリートアスリートを指導するコーチはハイパフォーマンスコーチと定義されており、優れたエリートアスリート育成の中心的な存在、国際的な栄光を掴むという目的達成のためのコーチングプロセスを先導し管理しているとされている。現在、男子体操競技において日本の競技力は世界トップと言える。先日開催された 2015 年の世界選手権では国際競技会において 11 年ぶり、世界選手権においては 37 年ぶりの団体総合優勝、内村航平選手のオリンピック、世界選手権を含めた個人総合世界大会 7 連勝、獲得金メダル数 4 つと大きな活躍を成し遂げることが出来た。さらに 2013 年以降の世界選手権では男子国別のメダル獲得数が世界最多であることが挙げられる。男子体操競技において日本が高い競技力を有している要因として「コーチ」が関係していると考えられる。コーチの行動は選手に対して社会的、心理的など様々な側面から影響を与え、選手の競技力向上に関わっているからである。では実際にアスリートが与えられていると感じる影響は、コーチの意図するものなのだろうか。そこで本研究では、質的分析法を用いて男子体操競技におけるハイパフォーマンスコーチ達の「どのようなコーチング」が、エリートアスリートに「どのような影響」を与え競技力向上に繋がっているのかの相互関係を明らかにすることを目的と

した。

2. 研究方法

本研究で明らかにしようとしているような数字に表すことが困難な事象を理解するためには、質的研究が有効であることが示唆されており、質的研究を採用することとした。データ収集方法は半構造化インタビューを採用した。インタビュー内容をテキストデータ化し M-GTA(Modified-Ground Theory Approach)を使用して分析を行った。

3. 結果、考察

エリートアスリートが与えられた影響としてパフォーマンス向上、人格形成、また影響を受けるまでの過程としてコーチの振る舞いがあった。ハイパフォーマンスコーチがエリートアスリートの競技力向上において重要視していることについてアスリートとの関係性、人格形成、環境作り、モチベーション向上、技術力向上が確認された。2つの研究を照らし合わせるとハイパフォーマンスコーチはエリートアスリートに対して「良好的な関係」を構築しながら、「コミュニケーション能力を高める」コーチングを重要視しており、そのことがエリートアスリートの「周りの意見を聞ける力」、「自分の考えを伝える力」に影響を与え、エリートアスリートの競技力向上に繋がっていたと推察された。さらに「自律性支援行動」を用いたコーチングが、エリートアスリートの「パフォーマンス向上」に大きく影響を与えていたことが確認された。